

第1回美浜区地域福祉計画策定委員会議事要旨

日時：平成16年7月17日（土）午後2時～4時

場所：美浜区役所 4階講堂

出席委員：25名中23名出席

（敬称略、50音順）

事務局：美浜区	早乙女区長
保健福祉総務課	片岡参事、皆川主幹、北田補佐、高須主査、 和田副主査、掛川主任主事、仙田主事、 西森主事
子ども家庭福祉課	田中主事
保育課	土田主任主事
高齢施設課	黒木主事
美浜区福祉事務所	今泉副主査、植田主事、翠川主事

関係者：1名

傍聴人：0名

会議内容

次第に従い、開会後早乙女美浜区長が挨拶。

その後各委員が自己紹介を行った。

自己紹介後、議題に移った。

< 議題 >

(1) 会議の公開について

委員に区策定委員会の公開・記録についての意見を聴いた。

公開・記録についての異議はなかったので、今後の区策定委員会は公開し、記録又内容についてはインターネット等を通じて市民に周知する。

(2) 各地区フォーラムの取組状況について

資料を基に各地区フォーラム委員長が第3回地区フォーラムまでの課題の検討について報告した。

「幸町地区フォーラム」

石本委員長：各地区の問題の内容を見ると懐かしい。40年前は、美浜区には誰も住んでいなかった。稲毛海岸に始まり、幸町、高洲、

高浜と年々西へと「まち」ができていった。「まち」ができた当時は非常に活気があったが、当時 40 歳の人には現在 80 歳、50 歳の人には 90 歳と、だんだん高齢者ばかりになってきている。

西（幕張西地区）の方の問題をみるとそのような思い出がでてくる。30 年後、西のほうも幸町と同じ問題が出てくるのではないか。

美浜区は歴史のないまちで、若い人が多かったので、施設はほとんどなかった。美浜区の税金が若葉区にいつてしまい、道路や施設が多くできている。なぜ、美浜区に福祉の施設がないのか。幸町はほとんど公団のため市の所有地は学校くらいしかない。公園すらない。

フォーラムの行方、どういう解決策があるのかは、非常に難しい問題である。高齢者・弱者がどうしたら良くなるか、住みよいまちづくりのため一生懸命やっている。皆さんで勉強していきましょう。

キーワードということで、高齢者・障害者・児童・その他から考えてみた。

今の子どもは外で遊ばない。若いお母さんたちは、塾ばかり。余力をもたせて伸び伸びと育てて欲しい。

ゆったりした施設をつくってもらわなければならない。しかし、市の財政が厳しい。我々が知恵を出し合い、体を動かしてカバーしていかないといけない。市にやってほしいだけでは、何もできない。

市にお願いするだけでは施設ができてはひとつも向上しない。市を考えるよりもまず自分で動いて考える必要があると思います。

「稲毛海岸・高洲・高浜地区フォーラム」

小椋委員長： 3 回開催して、いろいろな問題が出てきた。

高齢者については、独居老人の孤独死が一番の問題。あと、社会参加がなかなかできないということがあった。

障害者については、まわりに同じ仲間の集まる場所がない、どこにいるのかわからないという問題があった。

健全育成については、核家族化ということで、高齢者とのコミュニケーションがとれないなどの問題があった。

情報・防犯・相談については、オレオレ詐欺や訪問販売についての対策をどうしたらよいかという意見がでた。

これからいろいろな話し合いをしながら、住民としてどういったことができるか、市に対してどういった要請をするべきか考えていきたい。

「真砂・磯辺地区フォーラム」

高橋委員長： 2つのまちで地区フォーラムを構成している。区役所のまわりのまち（真砂）、海辺のまち（磯辺）。海側はレジャーとして発達してきているがまだ開発の余地があるのではないか。

防災については、磯辺地区は避難所が0、備蓄も0に近い状態である。一番心配なのは京葉線が阪神大震災のようになった場合、陸の孤島になってしまうのではないかとということである。

福祉に関しては、特養が4・5年前に1つ、来年にもう1つできるということで、一步一步前進しつつあると歓迎している。

障害者については、ディアフレンズ美浜ができて、いろいろな地域の方が来て利用されている。

過去3回のフォーラムで28個のキーワードがでた。

一番の問題は、弱者に対する援護が少ないということである。特に、身体障害者に対するタクシー券は、最大200枚が支給されている。しかし、実際はその倍を利用しているので、利用者の負担が大きいと考えられる。

そういうまちの中で、高齢化が進んでいる。磯辺地区は、現在約1,400人であるが、高齢化は急速であり、来年は、1,700人、真砂と合わせると5,000人以上になる。

児童については、夜間パトロールなどを行っているので犯罪は少ない。しかし、痴漢行為に対する被害が増えている。

高齢者に関しての建物が少ない。公民館があるが高浜よりにあるので、7・8丁目の人にとっては遠いので、利用者が少ない。また、建物が小さい。コミュニティセンターについても、3・4階しか使えないなど、使用に制限がある。

行政に対しては、住民に対する温かみを持って欲しいと思う。

児童問題として、見えないところでの虐待があるのではないかと。

みなさんの知恵を借りて、解決していきたいと思う。

「幕張西地区フォーラム」

角幡委員長：幕張西地区フォーラムは幕張西と打瀬の2つの地区で構成されている。

第3回まで、どんな問題があるのかを挙げるところまで行った。

1番多かった問題は、身近な生活支援である。いろいろな施設が少ない。このまちは企業庁が計画したが、最初の段階から福祉施設は入っていなかった。

幕張西も同様で、福祉施設がない。また、買い物に行くのが不便。日用品（生鮮）などの買えるところが、歩いていけるところがないという意見があった。

次に居場所の問題であるが、高齢者の気軽に集まって話せる場所がない。児童は、休日や放課後の過ごす場所ない。両親が働いている家庭が多く、学童保育があるが高学年は入れない。

障害者については、養護学校が遠いので地域に帰ってきてからの居場所がない。地域の人達と出会う場所がない。

交通の問題については、区役所や海浜病院の方に行くには、非常に不便である。

打瀬地区の特徴として、町全体が若いということ。子どもの数が増えている。子どもルームが2つあるが足りない。兄弟が別々の子どもルームに入っている場合もある。

指導員の数は児童20人に対して1人となっていて、100人に対して5人いるけど、結局は指導員ひとりが100人を把握していないといけない。それがストレスになっているようだ。

大規模で、子どもも精神的に不安定で安全面にも問題が出る。

私は、民生委員・児童委員になって3年目になるが、関わっていく中で聞いたことは、支援について窓口で相談しに行くが、聞いたことについてしか答えが返ってこなくて、他にこんな制度があるというような話はほとんどないとのことだった。同じ様な立場の口コミが頼りになっている。総合、横断的な窓口が必要で、1つの窓口で全ての情報が得ることができるようにしてほしい。

高齢者に関しては、ヘルパーを頼まない程度だが、ちょっとしたことで困っているという人が多い。

打瀬地区は、引越しをしてくる人が多く、近所づきあいが出来ない人がいる。

研修会で聞いた話だが、幼児を預ける制度が少ないということだった。ファミリー・サポート・センター制度があるが、回数が多くなると母子家庭などは経済的負担が大きくなる。

今後、福祉制度の狭間にある人をどのように支援したらいいかなど、財政・場所に制限がある中で、いろいろな角度から解決策を考えていきたいと思う。

< 取組状況に関する質疑応答 >

特になし。

(3) 委員長，副委員長の選任について

区策定委員会委員長、副委員長の選出について、委員に立候補の確認をしたところ、委員長として「真砂・磯辺地区フォーラム」の北昌司委員が立候補し、委員全員から賛同を得て、選出された。

副委員長については、女性のフォーラム委員長の中から選出したかどうかという意見があり、「稲毛海岸・高洲・高浜地区フォーラム」の小椋政子委員が選出された。

(4) その他

10月に行われる合同フォーラムについて事務局から説明し、当日の内容について了承を得た。

< その他質問事項 >

委員：千葉県で障害者差別禁止条例を来年度作るということだが、千葉市ではそれをどのように考えているか。

事務局：今のところ特に何も考えていない。検討もしていない。

委員：千葉市は福祉都市宣言をしているが、何年に宣言をしたか知っているか。

事務局：資料がないのでわからない。

委員：障害者差別禁止条例のことをこの計画の中で話し合っても構わないのか。

事務局：横断的に検討していく中であれば構わない。

委員：地域福祉計画の解決策を考えていくが、今行われている資源などを調べて考えていく必要があるのではないかと。保健福祉センターの機能を教えて欲しい。

事務局：情報は、事務局から随時お知らせする。高齢者・児童・障害者の関係各課と連携をとっていきながら進めていく。保健福祉センターについては、事務ラインについては、現在本庁で検討中ときいている。福祉事務所・保健センター・社

会福祉協議会が入る。ワンストップサービスの形になり、完成は19年4月オープン予定している。

委員：若葉区は先行しているが、機能が違うのか。

事務局：若葉区は来年の4月オープン予定だが、スペースの関係などですべてが合致するわけではないようである。6区がすべて同じものになるかは検討中である。

委員：ホールには、会議室があるときいたが、保健福祉センターも会議室ができるのか

事務局：会議室もできる。

委員：保健福祉センターの機能がはっきりしないと、重なってしまう作業がでてきてしまう。補うことを検討するわけであるから、どのようなものが入るのか、機能があるのか提供して欲しい。そうでないと、進められない。

事務局：次回のフォーラムまでには提供する。

委員：解決策が始まる前に欲しい。

委員：高洲保健センターが移動するだけではないのか。新しい機能があるのか。

事務局：なるべく早い段階でお知らせする。

委員：区連協の会議のときに配布された資料をコピーして渡せばいいのではないか。

委員：わからないではなくて、わかる人間に来てもらわなければ議論にならない。

委員：進め方については、事務局と相談していきたい。県との関係や市が持っている施設の有効活用、そして住民が連動し、議題を整理しながら論点をはっきりさせて、保健福祉センター以外のことも検討できるように進めていきたい。

事務局：次回開催予定は、来年1月を予定。

以上